

9月 下旬

令和2年東京都中央卸売市場青果物販売概況

1. 全体の販売概況

開市日 6日(前年比 -1日)

入荷量 :47,597トン(前年:52,241トン 91%)

kg単価 :312円(前年:290円 108%)

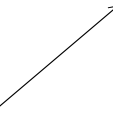

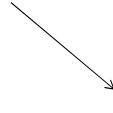
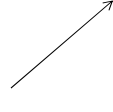
9月下旬は前年に比べ開市日が1日少ない為、1日当たりの入荷量で比較すると前年比106%となる。野菜の入荷量は全般に順調で前年比110%。果実は主になし類の生育初期の天候不順による不作のため1日当たりの入荷量は前年比95%と減少している。

トマトは東北産が花落ちしている段に入り入荷量が少なめで、関東の抑制作も多くはないためAM4kg2,500円と相場は上げとなった。

さといもは千葉産が昨年の天候不順から種芋の質が悪く、疫病の発生もあり入荷量は少なめで推移した。埼玉産も増量が遅れ気味で総体量不足から単価は前年比110%と堅調に推移した。

2. 埼玉県主要品目の販売概況(東京都中央卸売市場)

品目	項目	9月下旬 東京都中央卸売市場販売実績			今後の見通し (10月上旬～ 10月中旬)		出回り 主力産地			摘 要
		本年	前年	前年比	入荷量	価格				
小松菜	入荷量(t)	424	469	90%	↑	48%	28%	15%	9月下旬結果	茨城・群馬・埼玉産主力の入荷となった。茨城・群馬産は生育は順調で1日当たりの入荷量は前年を大きく上回った。販売面では総体量は前年より多めだが、ほうれん草は入荷量が少ないため相場は強めで推移しており、特売の引き合いもあり入荷も荷動きは良好であった。価格は埼玉産AM袋で70-60円の保合で推移した。
	価格(円/kg)	344	310	111%	↓				10月上旬～10月中旬見通し	引続き茨城・群馬・埼玉産主力の入荷となろう。関東産は好天予想となっており、生育は順調で入荷は潤沢な見込み。値頃感から特売も多いが薬物類全体も入荷が潤沢なことから弱含みが見込まれる。価格は、10月上旬で埼玉産AM袋は60-50円の弱保合を見込む。
きゅうり	入荷量(t)	2,067	2,521	82%	↑	24%	22%	15%	9月下旬結果	群馬・埼玉産他関東産主力に福島産他東北産が加わった入荷となった。関東産抑制作は降雨の日が多く日照不足から1日当たりの入荷量は前年比でやや少なめで推移した。量販店での夏野菜売場の展開は縮小したが、総体量不足から引き合いは強く堅調な販売で単価は前年比150%と大幅高となった。価格は埼玉産5kgコンテナで2,200円の保合で推移した。
	価格(円/kg)	390	260	150%	↓				10月上旬～10月中旬見通し	引続き群馬・埼玉産主力に福島産他東北産の残量の加わる入荷となろう。福島・東北産は気温低下と共に日々漸減する見込み。群馬・埼玉産は生育が遅れ気味だったが、好天の予想から日照時間も増加し生育は回復して潤沢な入荷を見込む。価格は、総体量の増加と量販店での売り場縮小から10月上旬で埼玉産Aコンテナは2,000-1,800円の下げを見込む。

品目	項目	9月下旬 東京都中央卸売市場販売実績			今後の見通し (10月上旬～ 10月中旬)		出回り 主力産地			摘 要	
		本年	前年	前年比	入荷量	価格					
ねぎ	入荷量 (t)	1,305	1,486	88%	入荷量		青森	北海道	秋田	9月下旬 結果	青森・秋田産他東北産と北海道産中心の入荷となった。東北・北海道産は降雨や稲刈りによる作業停滞から一日当たりの入荷量では前年並みかやや減となった。秋田県では大規模なねぎの専業農家が多く、稲刈りの影響は少なく前年を上回る入荷となった。販売面では総体の入荷量は前年比微増だが消費は堅調で単価は前年比の2割高での販売となった。価格は、埼玉産Lバラで1,700-1,500円の保合で推移した。
	価格 (円/kg)	424	344	123%	価格		24%	22%	22%	10月上旬 ～10月中 旬 見通し	引続き青森・秋田産他と東北産・北海道産中心の入荷となろう。青森産は降雨・稲刈り・ニンニクの農作業の影響と一部病気の発生から10月上旬も出荷少ない見込み。秋田産は稲刈りもほぼ終了し掘り取り作業は順調となり潤沢な入荷となろう。秋本番となり量販店での売り場も広がり引合は強くなる見込み。価格は、10月上旬で埼玉産45本バラは1,700-1,500円の保合の推移を見込む。
なす	入荷量 (t)	799	930	86%	入荷量		群馬	栃木	茨城	9月下旬 結果	群馬・栃木・茨城産中心の入荷となった。関東産は出荷終盤で成り疲れもあり1日当たりの入荷量は9月中旬よりやや減少したが、前年並みでの推移となった。夏野菜の売り場が縮小する中だが単価もほぼ前年並みで推移した。価格は、栃木産AMバラで2,000-1,800円で推移した。
	価格 (円/kg)	425	435	98%	価格		33%	33%	12%	10月上旬 ～10月中 旬 見通し	群馬・栃木産に高知産が加わる入荷となろう。高知産は9月上旬に定植が終了し、その後も台風の影響もなく好天に恵まれ生育は前年に比べ順調で10月中旬から増加の見込み。栃木・群馬産は出荷終盤で成り疲れや花落ちから減少傾向となろう。価格は、10月上旬で栃木産AMバラは2,200-2,000円の強保合での推移を見込む。

3. 今後の見通し

量販店では、気温の低下が進めば、ばれいしょ・にんじん・たまねぎ・さといも・きのこと類等の煮物系野菜の需要が高まり売り場は拡大されるであろう。

ブロッコリーは北海道産が産地が好天で気温も高く生育良好で10月下旬の降霜までは安定的な出荷が続く見込み。長野産は例年より早く気温が下がっており入荷量は少なめで推移となろう。

カリフラワーは例年新潟産が本格出荷となっている時期であるが、夏場の高温により生育が遅れており来週以降に出荷が増える見込み。

10月上旬は2,000円の弱保ち合いとなる予想。